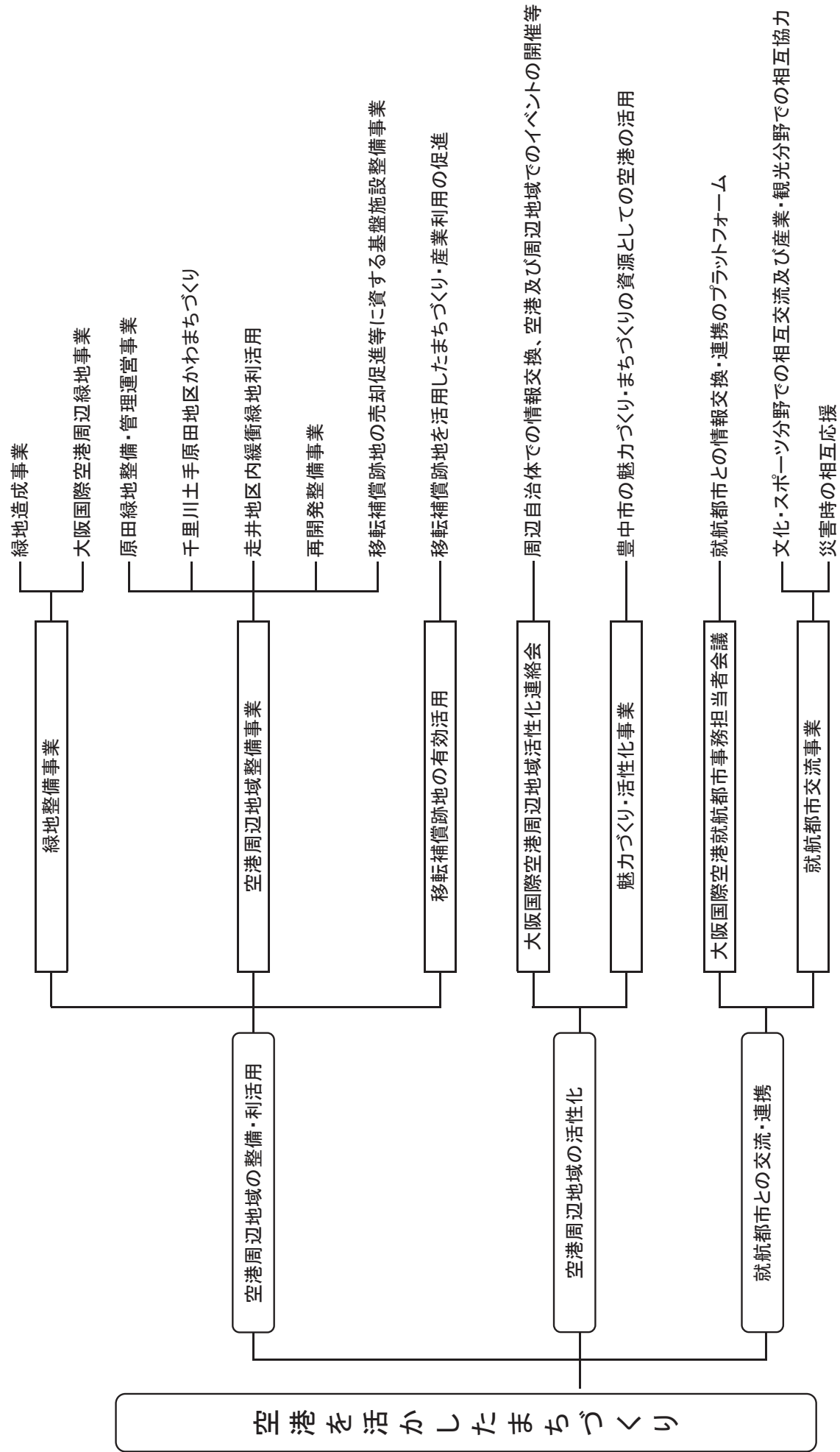


第4章 大阪国際空港を活かしたまちづくり

I. 空港を活かしたまちづくり 体系図



1. 空港を活かしたまちづくり

大阪国際空港は市街地に立地していることから、周辺地域に航空機騒音などによる被害が生じてきた。市では長年、これらの騒音を軽減・緩和するため、国や大阪府などとともに様々な空港周辺対策や安全対策を行ってきた。

一方で、空港は地域の重要な社会資源でもあり、航空機技術等の発達により低騒音の機材が登場するなど一定の対策が進む近年では、これらのバランスが大切で、空港と共存し、空港の機能を地域の活性化に結びつけることも大切である。こうしたことから、市では空港周辺対策に十分配慮したうえで、空港を最大限に活用し、その利益を市民に還元していくため、平成22年度から「大阪国際空港を活かしたまちづくり」を新たに基本政策に位置づけ、取組みを進めている。

2. 空港周辺地域の整備・利活用

(1) 緑地整備事業

① 緑地造成事業【昭和49年3月 事業開始】

航空機騒音と排ガスの緩和等を目的に、移転補償制度により取得した第3種区域を中心とした移転跡地等を緑化する事業。平成24年7月から新関西国際空港株式会社、平成28年4月から関西エアポート株式会社が承継している。

○事業の実績(令和7年3月末) 緩衝緑地造成・造成植栽・・・138, 505㎡

② 大阪国際空港周辺緑地事業

空港隣接地域及び航空機航路直下の一定地域の騒音激甚地区において、周辺地域と空港が調和する抜本的な周辺整備を促進するため、都市計画緑地を整備。

○緩衝緑地のⅠ期【平成14年4月11日 事業承認・認可】は、平成23年度末に一部を除き完了し、Ⅱ期の事業化は未定。

○利用緑地【昭和63年1月13日 事業承認・認可】は、平成25年度末に一部を除き完了し、豊中市が管理している。

(資料No.6 大阪国際空港周辺緑地事業)

(2) 大阪国際空港周辺地域整備事業

国・大阪府・大阪国際空港周辺整備機構・豊中市により、大阪府・兵庫県により昭和49年に策定された「大阪国際空港周辺整備計画」の実施計画として昭和63年12月に「大阪国際空港周辺地区整備計画(案)」を策定した。同計画(案)に基づき、移転補償跡地を有効活用しながら緑地・公園・防火水槽・細街路等の施設整備を進めてきたが、この間の社会情勢の変化や法制度の変更、航空機騒音の状況変化等があることから、同計画(案)を見直し、令和3年度に「大阪国際空港周辺地域整備構想」を策定した。同構想に基づき、重点事業として、原田緑地の整備や走井地区内緩衝緑地の利活用などを行う。

(資料No.8 大阪国際空港周辺地域整備事業)

① 原田緑地整備・管理運営事業【令和5年12月 事業開始】

千里川土手は、「飛行機撮影の聖地」とも言われており、世界最大級の旅行プラットフォーム「トリップアドバイザー」で「エクセレンス認証」を受け、全国から人が集まる本市の貴重な観光資源である一方、トイレ等が未整備、駐車場が不足しているなど観光スポットとしての環境が整っていない状況となっている。また、大阪国際空港に千里川土手を挟んで隣接する広さ約6ヘクタールの区域(原田緑地)は、大阪国際空港周辺緑地事業の緩衝緑地Ⅱ期事業の計画地となっている。こうし

たことから、水とみどりと空を一体的に体感できる緩衝緑地として、航空機運航の安全を前提に、騒音対策の機能を維持したまま整備することとした。

令和6年度に工事に着手するとともに、クラウドファンディングを開始し、公募により愛称「豊中つばさ公園『ma-zika』」を選定した。

令和7年8月に一部開園、令和9年3月に全面開園する予定。

・整備予定の施設

展望・芝生広場(BANK)、管理事務所(屋根付展望広場)、マルシェ広場(屋根付広場)、イベント広場、遊具広場、ドッグラン、飲食施設、バーベキュー広場、観察の森(万博レガシーの森)、自然の森、学習の森、記念樹の森、緑と食品のリサイクルプラザ(体験農園)、駐車場・駐輪場、トイレ、空港の歴史案内、航空機情報案内、自動販売機等。

②千里川土手原田地区かわまちづくり【令和6年8月 事業開始】

原田緑地と一体的に整備する千里川土手原田地区において、飛行機を鑑賞しながらみどりや河川に親しむことができる環境を創出するため、豊中市、関西エアポート株式会社、大阪府で構成する「千里川土手原田地区かわまちづくり推進協議会」で整備・管理運営を行うこととした。

右岸の階段護岸(裏法)、遊歩道については、令和7年8月に供用を開始する予定。

・整備予定の施設(令和7年～令和11年)

芝生広場(河川敷)、階段・スロープ・親水護岸(左岸親水空間)、遊歩道等

③走井地区内緩衝緑地利活用【平成30年10月 事業開始】

走井地区内緩衝緑地(走井2丁目11番、12番地内)において、地元団体と連携し、花畑などを整備するとともに、春にはネモフィラなど、秋にはコスモスなどを鑑賞できる年に2回のイベント(空と緑のミュージアム)を開催している。

(3)再開発整備事業【昭和49年度 事業開始】

第1種区域内で航空機騒音により、機能が害されることが少ない工場・倉庫等を計画的に配置するため、用地の取得、造成、管理を行っている。平成24年7月から新関西国際空港株式会社、平成28年4月から関西エアポート株式会社が承継している。

○事業の実績(令和7年3月末)再開発整備

・取得等・・・24, 129㎡(譲渡済23, 594㎡)

・保有面積・・・536㎡

・施設貸付型事業・・・1, 906㎡(駐車場3ヶ所)、2, 125㎡(倉庫・事務所1ヶ所)

(4)移転補償跡地の売却促進等に資する基盤施設整備事業【平成27年度 事業開始】

大阪国際空港周辺場外用地の取扱いに関する覚書に基づき、移転補償跡地を取得して、移転補償跡地の売却促進又は価値向上に資すると認められる公園、緑道等の基盤施設を整備することについて、新関西国際空港株式会社が助成を行っている。

3. 移転補償跡地の有効活用

(1)背景

大阪国際空港周辺地域においては、昭和42年に制定された「航空機騒音防止法」に基づき、昭和45年度に始まった移転補償事業により、蚕食状態の移転補償跡地が点在する結果となっ

た。その後、数次にわたる騒音指定区域の縮小が行われ、国の行政目的に直接供せられない普通財産(未利用地)が生じて、現在も市域内に数多く点在している。これらの移転補償跡地は、まち全体のバランスの取れた発展を図る上での大きな阻害要因となっている。

このことから、移転補償跡地の有効活用を進めるため、市は地域再生計画を策定することとした。

(2) 地域再生計画(「まちづくり」と「産業再生」計画)

平成18年7月3日に内閣府から市で作成した地域再生計画の認定を受けた(後に、平成20年11月11日、平成21年3月27日に地域雇用創造推進事業の追加・修正のため、変更認定を受けた)。同計画は、令和2年度をもって計画期間が終了し、令和3年度に計画の目標達成度等の評価を行った。

同計画に基づき設置された、航空局や大阪航空局、近畿地方整備局、近畿財務局、大阪府等から成る「特定地域プロジェクトチーム」による検討が進められ、移転補償跡地の処分方法として、大阪航空局が「分譲型(処分型)土地信託」を導入することとなった。

なお、この土地信託は平成21年2月16日から5年間行われる予定であったが、この間に大阪国際空港と関西国際空港の経営統合が実現し、移転補償跡地が新関西国際空港株式会社に現物出資されることになったことから、同事業は平成24年3月31日に終了した。

地域再生制度と地域再生計画

地域再生制度とは、地域再生法に基づき、地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出その他の地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するため、地域が行う自主的な取組みを国が支援するもの。

地方公共団体は、地域再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受けることで、当該地域再生計画に記載した事業の実施に当たり、財政、金融等の支援措置を活用することができる。

分譲型(処分型)土地信託事業概要

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| ① 信託対象土地及び面積 | : 189件 105, 157. 35㎡(約10. 5ha) |
| ② 信託期間 | : 平成21年2月16日～平成24年3月31日 |
| ③ 信託会社 | : みずほ信託銀行株式会社 |

(3) 場外用地(移転補償跡地)等の取扱いに関する新関西国際空港株式会社との協力関係

大阪国際空港の運営が国から新関西国際空港株式会社に移管されたことで、移転補償跡地についても、従来の国の管理下よりも柔軟な土地利用を行うことが可能な環境となった。

こうした大きな環境変化の中で、豊中市と新関西国際空港株式会社は、移転補償跡地の有効活用等による大阪国際空港を活かしたまちづくりや空港周辺地域の産業再生について両者が協働し、空港と周辺地域の一層の活性化を図っていくことが、極めて重要な課題であるとの認識を共有し、新関西国際空港株式会社設立後から検討・協議を進め、平成24年11月に両者の間で基本合意及びこれに基づく覚書(『大阪国際空港場外用地(豊中市域)の取扱いに関する覚書』)を締結した。

移転補償跡地売却等実績

(令和7年3月末現在)

	区分	利用種別	物件数	面積(㎡)
国売却分 (みずほ信託銀行株式会社による分譲型土地信託事業) 【平成21年2月16日～平成24年3月31日】	売却済	住居系	116	34,279.94
		事業系	9	8,473.48
		合計	125	42,753.42
	市買取り分		1	3,420.98
	未売却	住居系	39	10,332.78
		事業系	27	48,650.17
		合計	66	58,982.95
新関西国際空港株式会社売却分 【平成24年7月1日～令和7年3月31日】	売却済	住居系	42	28,924.49
		事業系	20	28,709.49
		合計	62	57,633.98
	市買取り分		17	11,800.07
	未売却	－	56	13,943.40
合計	売却済	住居系	158	63,204.43
		事業系	29	37,182.97
		合計	187	100,387.40
	市買取り分		18	15,221.05
	未売却	－	56	13,943.40
	貸付	－	44	－
	未貸付	－	4	－

さらに、空港周辺地域の企業立地を促進するため、具体的な方策の検討・協議を進めた結果、今後、一部の場外用地(17か所)について、産業利用を優先した売却方法(特定業態先行入札方式)を実施することとした覚書を平成25年5月に締結した。

このうち、原田南2丁目のテニスコート及び原田中1丁目94番3については、市が買い取ることとなったため、現在は15か所を対象にこの覚書を運用している。

移転補償跡地 産業利用優先用地 利活用状況

(令和7年3月末現在)

	対象件数	利活用 件数	未利用 件数	備 考
売却対象 用地	12	10	2	・売却済10件はすべて製造業・卸業等の事業所が立地
貸付対象 用地	3	3	0	・都市計画緑地内の用地は売却せず貸付 ・貸付済3件のうち2件は事業所が賃貸借し、1件は市民活動団体が農体験の活動場所として暫定使用中
合計	15	13	2	

4. 大阪国際空港周辺地域活性化連絡会

大阪国際空港周辺の7市(池田・伊丹・川西・吹田・宝塚・豊中・箕面)、大阪府、兵庫県、大阪航空局で構成されており、大阪国際空港及び周辺地域の活性化について協議し、その実現に向けて取り組むことを目的としている。

平成11年に発足以来、空港見学ツアーの開催や空港でのイベントへの協力などの活動を行っている。

○令和6年度 of 取組み

事業	実施日	開始年度	内容
空楽フェスタ 2024	5/18	平成20年度	マチカネくんの出演、ブース出展等による事業協力 主催: 関西エアポート(株)
「空の日」エアポートフェスティバル 2024	11/9	平成11年度	マチカネくんの出演、ブース出展等による事業協力 主催: 関西エアポート(株)
空港こども見学ツアー	12/8、14、15	平成17年度	空港関連施設の見学ツアーを実施 対象: 構成7市に在住の小学3年生～中学3年生とその保護者(※保護者同伴は小学生のみ)、合計163人 内容: ①全日本空輸(ANA)格納庫地区内での格納庫見学、空港で働く車両の展示、運航便のお見送り、空港のお仕事教室(12/8) ②日本航空(JAL)大阪整備格納庫・空港施設で整備中の飛行機見学(12/14、15) 主催: 大阪国際空港周辺地域活性化連絡会
大阪国際空港雪まつり	1/18、19	平成28年度	マチカネくんの出演、ブース出展等による事業協力 主催: 大阪国際空港雪まつり実行委員会(横手市・横手市観光協会ほか)
大阪国際空港ぐるっとパスポート	2月	平成24年度	大阪国際空港と周辺地域をPRする冊子を大幅に刷新 発行: 大阪国際空港周辺地域活性化連絡会

○令和5年度 of 取組み

事業	実施日	開始年度	内容
空楽フェスタ 2023	5/13	平成20年度	マチカネくんの出演、ブース出展等による事業協力 主催: 関西エアポート(株)
秋田竿燈サマーフェスタ in 大阪国際空港 ITAMI	7/8、9	令和5年度	マチカネくんの出演、広報等による事業協力 主催: 秋田空港利用促進協議会
「空の日」エアポートフェスティバル 2023	10/28	平成11年度	マチカネくんの出演、ブース出展等による事業協力 主催: 関西エアポート(株)

空港こども見学ツアー	12/2、3、9	平成17年度	空港関連施設の見学ツアーを実施 対象:構成7市に在住の小学3年生～17歳とその保護者、合計 175 人 内容:①日本航空(JAL)大阪整備格納庫での整備中の航空機見学や空港施設でのお仕事体験 ②全日本空輸(ANA)格納庫地区内での格納庫見学、空港のお仕事教室、運航便の見送り 主催:大阪国際空港周辺地域活性化連絡会
大阪国際空港雪まつり	1/20、21	平成28年度	マチカネくんの出演、ブース出展等による事業協力 主催:大阪国際空港雪まつり実行委員会 (横手市・横手市観光協会ほか)

5. 就航都市との交流・連携

(1) 背景

大阪国際空港を活かし、地域の活性化につなげていくため、市では従来から、同空港周辺の他の自治体や関係団体との連携を進めてきた。一方で、空港は単独では存在し得ず、航空路線で結ばれた就航先の空港やその所在都市(就航都市)との関係を考慮せずに単独で発展することはありえない。これらのことから市は平成22年度から就航都市と連携し、地域相互の活性化の道を探る取組みを始めた。

(2) 大阪国際空港就航先都市間交流(トップセールス)

平成22年9月から平成24年2月にかけて、市長が「大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会」や大阪国際空港ターミナル株式会社などの地元団体とともに、大阪国際空港の就航先など29空港34都市(当時)を訪問し、空港の活性化や空港を活かしたまちづくりなどに関する意見交換を行う「大阪国際空港就航先都市間交流(トップセールス)」を実施。スポーツ・文化や事業所等の相互交流、産業・観光に関する相互協力、災害時の相互応援について意見交換を行った。

(3) 大阪国際空港就航都市サミット

交流と連携の取組みは、豊中市と就航都市だけでなく、それぞれの就航都市の間で進められることも大切であることから、就航都市の首長が一堂に会し、空港の活性化と空港を活かしたまちづくりについて意見交換し、新たな展開をともに探る機会とするため、「大阪国際空港就航都市サミット」の開催を企画。平成24年2月の担当職員によるサミット準備会を経て、同年8月にサミットを開催し、サミット宣言を採択した。

(資料No.13 大阪国際空港就航都市サミット)

(4) 大阪国際空港就航都市事務担当者会議

大阪国際空港を活かしたまちづくりを進める取組みの一環として、スポーツ・文化をはじめ、産業・観光振興、防災・災害時応援など、様々な分野で就航都市間の交流を促進し、地域相互

の活性化と発展に向けて、就航都市と協力・連携を強化していくことを目的としたプラットフォーム。

6. 就航都市交流事業

トップセールス、大阪国際空港就航都市サミットを契機に、新たに就航都市との交流と連携が始まり、平成23年には豊中まつりのスポーツイベントで愛媛県松山市が、物産・観光 PR など松山市、島根県隠岐の島町・斐川町（現出雲市）が参加したほか、豊中市農業祭などのイベントに島根県益田市や福島県須賀川市が物産・観光PRなどで出展するなど、徐々にスポーツや文化の相互交流が進んでいった。

また、平成23年3月の東日本大震災では、宮城県名取市や同県岩沼市、福島県須賀川市、同県玉川村、平成28年4月の熊本地震では、熊本県益城町、同県菊陽町を直接訪問して必要な物資を届けるなど、災害支援を通じた交流も深まっている。

（資料No.10 就航先と交流都市位置図、資料No.11 就航先と交流都市一覧）

こうした取組みを背景に、6市2町1村と「空港で結ぶ友好都市提携に関する協定」、3市3町1村と「災害時の相互応援に関する協定」を締結。双方の空港を活かしたまちづくりを一層推進するため、文化・スポーツや産業・観光分野での相互協力、災害時の相互応援などの分野で、両都市の住民等の交流を通じて友好を促進する取組みを始めた。

（資料No.12 協定締結都市一覧）

○令和6年度取組み

事業	実施日	開始年度	内容
スポーツ交流事業 （中学生軟式野球）	5/3、4	令和5年度	隠岐の島町との中学生軟式野球交流試合 会場：二ノ切少年球技場、スカイランド HARADA 多目的運動場 主催：豊中市少年野球連合会 共催：豊中市
空楽フェスタ 2024 （就航都市物産事業）	5/18	令和元年度	旭川市、青森市、函館市、秋田市、松本市、出雲市、益田市、隠岐の島町がブース出展 主催：関西エアポート(株)
大阪国際空港夏期便及び 就航都市 PR 事業	7/1～31	令和6年度	大阪国際空港の夏期便及び就航都市観光情報のポスター・チラシの掲示や動画の放映 場所：豊中市魅力発信コーナー（TIP） 主催：豊中市
石見空港運航初便 歓迎イベント	8/10	令和6年度	夏期便の初便利用者に対して、石見空港及び周辺自治体キャラクターとともに、マチカネくんが出迎え・見送り 場所：石見空港出発・到着ロビー 主催：萩・石見空港利用拡大促進協議会
就航路線利用促進事業 （益田市との職員間交流事業）	8/10、11	令和6年度	益田市からの招待を受け、益田市にて職員間の交流事業を実施 内容：農地見学、夜神楽鑑賞、サイクリング、交流会 主催：益田市

スポーツ交流事業 (少年軟式野球) (ござんせ CUP)	8/16、 17、18	平成15年度	隠岐の島町との少年軟式野球交流試合 会場:隠岐の島町総合グラウンド、隠岐高校グラウンド、西郷小学校グラウンド 主催:ござんせCUP実行委員会(隠岐の島町商工観光課)
須賀川市 釈迦堂川花火大会	8/24	平成29年度	須賀川市で開催された「須賀川市釈迦堂川花火大会」に PR 出展。豊中の魅力を紹介するとともに、大阪⇄福島便の PR を実施 主催:須賀川市釈迦堂川花火大会実行委員会
スポーツ交流事業 (壮年軟式野球)	8/24	平成30年度	隠岐の島町との壮年軟式野球交流試合 会場:服部緑地軟式野球場 主催:豊中豊友少年軟式野球連合 共催:豊中市
第8回大阪国際空港 就航都市事務担当者会議	8/29、30	平成25年度	6空港7自治体、オブザーバー9機関が参加 活動報告 ① 地域と一体になった活動(HAP) ② 魅力ある空港づくりや脱炭素への取組み(KAP) ③ 旭川空港エリアの魅力(旭川市) ④ 空港を活かしたまちづくりの取組み(豊中市) グループディスカッション テーマ:「観光振興と特産品の PR について」 「航空機の利用促進について」 会場:旭川市役所 主催:豊中市
クラダシチャレンジ in 益田市	8/29～ 9/4	令和5年度	社会貢献型インターンシップとして、梨の収穫・梱包、意見交換会を実施 主催:株式会社クラダシ 協力:豊中市、益田市
豊中まつり 2024 WEB豊中まつり 2024	10/19、 20	平成23年度	隠岐の島町、奄美市、福島空港ビル株式会社がブース出展 WEB 豊中まつりのサイト内にて、就航都市の観光情報の web サイトや動画の公開 主催:豊中まつり推進会
豊中市農業祭	11/23	平成23年度	須賀川市、玉川村、益田市、菊陽町がブース出店 主催:豊中市農業祭実行委員会
文化交流事業 「隠岐国分寺蓮華会舞」	2/23	令和6年度	隠岐の島町の隠岐国分寺蓮華会舞の上演と物産販売 会場:アクア文化ホール 主催:豊中市 共催:隠岐の島町
クラダシチャレンジ in 隠岐の島町	3/3～7	令和5年度	社会貢献型インターンシップとして、岩ガキの収穫・箱詰め、意見交換会を実施 主催:株式会社クラダシ 協力:豊中市、隠岐の島町
スポーツ交流事業 (少年軟式野球)	3/21、22	平成15年度	隠岐の島町との少年軟式野球交流試合 会場:マリンフード豊中少年野球場、豊中ローズ球場

			主催:豊中豊友少年軟式野球連合 共催:豊中市
函館空港就航路線 PR 事業	6/22、23 3/15、16	令和3年度	函館空港内の就航都市 PR 展示コーナーにおけるポスター・チラシの掲示や動画の放映 主催:函館市
福島空港関西万博 2025 カウントダウン PR 事業	通年	令和4年度	福島空港内の大阪国際空港所在市 PR コーナーにおけるパンフレットの設置 主催:福島空港ビル株式会社
友好都市の食材を使用した小学校給食の提供	通年	平成30年度	旭川市の米粉、国東市のわかめを使用したメニューを小学校給食で提供 主催:豊中市
デジタルサイネージ	通年	平成28年度	市役所庁舎において、就航都市の観光情報等の映像を放映

○令和5年度 of 取組み

事業	実施日	開始年度	内容
スポーツ交流事業 (中学生軟式野球)	5/3、4	令和5年度	隠岐の島町との中学生軟式野球交流試合 会場:豊中ローズ球場 主催:豊中市少年野球連合会 共催:豊中市
空楽フェスタ 2023 (就航都市物産事業)	5/13	令和元年度	函館市、東根市、松本市、隠岐の島町、出雲市、益田市がブース出展 主催:関西エアポート(株)
豊中まつり 2023 WEB豊中まつり 2023	8/5、6	平成23年度	隠岐の島町、福島空港ビル株式会社がブース出展 WEB 豊中まつりのサイトにて、就航都市の観光情報の web サイトや動画の公開 主催:豊中まつり推進会
スポーツ交流事業 (少年軟式野球) (ござんせ CUP)	8/18、 19、20	平成15年度	隠岐の島町との少年軟式野球交流試合 会場:隠岐の島町総合グラウンド 主催:ござんせCUP実行委員会(隠岐の島町商工観光課)
須賀川市 釈迦堂川花火大会	8/26	平成29年度	須賀川市で開催された「須賀川市釈迦堂川花火大会」に PR 出展。豊中の魅力を紹介するとともに、大阪⇄福島便の PR を実施 主催:須賀川市釈迦堂川花火大会実行委員会
スポーツ交流事業 (壮年軟式野球)	8/26	平成30年度	隠岐の島町との壮年軟式野球交流試合 会場:豊中ローズ球場 主催:豊中豊友少年軟式野球連合 共催:豊中市
クラダシチャレンジ in 益田市	9/14～ 20	令和5年度	社会貢献型インターンシップとして、梨の収穫・梱包、意見交換会を実施 主催:株式会社クラダシ 協力:豊中市、益田市
須賀川市友好都市 マルシェ	11/19	令和5年度	須賀川市で開催された「須賀川市友好都市マルシェ」に PR ブース出展。豊中の魅力を紹介するとともに、大阪⇄福島便の PR を実施 主催:株式会社こぷろ須賀川

豊中市農業祭	11/25	平成23年度	須賀川市、玉川村、益田市、菊陽町がブース出店 主催:豊中市農業祭実行委員会
文化交流事業 「早池峰神楽(岳神楽)」	2/24	令和5年度	花巻市の早池峰神楽(岳神楽)の上演と鹿踊りの衣装展示、物産販売 会場:アクア文化ホール 主催:豊中市 共催:花巻市
クラダシチャレンジ in 隠岐の島町	3/2～8	令和5年度	社会貢献型インターンシップとして、岩ガキの収穫・箱詰め、意見交換会を実施 主催:株式会社クラダシ 協力:豊中市、隠岐の島町
スポーツ交流事業 (少年軟式野球)	3/22、23	平成15年度	隠岐の島町との少年軟式野球交流試合 会場:ふれあい緑地少年野球場 主催:豊中豊友少年軟式野球連合 共催:豊中市
函館空港就航路線 PR 事業	6/17、18 2/24、25	令和3年度	函館空港内の就航都市 PR 展示コーナーにおけるポスター・チラシの掲示や動画の放映 主催:函館市
福島空港関西万博 2025 カウントダウン PR 事業	通年	令和4年度	福島空港内の大阪国際空港所在市 PR コーナーにおけるパンフレットの設置 主催:福島空港ビル株式会社
デジタルサイネージ	通年	平成28年度	市役所庁舎において、就航都市の観光情報等の映像を放映

(その他)

- ・奄美まつり舟こぎ競走大会における豊中市長賞の授与(平成25年度～令和元年度、令和5年度～令和6年度)
- ・せんちゅうパルで開催する「奄美の観光と物産展 in 大阪」に対する後援
(平成26年度～平成30年度、令和3年度～令和5年度)

7. 周辺自治体や航空会社等との連携事業

大阪国際空港を活かし、地域の活性化につなげていくため、市では従来から、同空港周辺の他の自治体や関係団体との連携を進めている。

○令和6年度 of 取組み

事業	実施日	開始年度	内容
空と緑のミュージアム	5/6、 11/9	令和元年度	走井地区内緩衝緑地において、春は一般市民、秋は箕輪小学校の生徒・保護者向けにイベントを実施 主催:空と緑に親しむ会
ふるさと納税返礼品 大阪国際空港 施設見学ツアー	6/22、 9/22、 3/30	令和5年度	大阪国際空港所在3市(豊中市、伊丹市、池田市)と日本航空株式会社が連携し、各市のふるさと納税返礼品として大阪国際空港施設見学ツアーを実施 寄附額:100,000円/人 参加人数(3市合計)

			第1回:13人 第2回:16人 第3回:13人
--	--	--	-------------------------------

○令和5年度の取組み

事業	実施日	開始年度	内容
空と緑のミュージアム	5/13、 11/11	令和元年度	走井地区内緩衝緑地において、箕輪小学校の生徒・保護者向けにイベントを実施 主催:空と緑に親しむ会
空の市出張版 @せんちゅうパル南広場	5/27	令和5年度	千里中央駅周辺の新たなまちの魅力を創出するため、株式会社ジェイエアと連携し、大阪国際空港で実施されている「ITAMI 空の市」の出張版を開催 内容:岩手県、鹿児島県の特産品販売、航空教室、制服着用体験など 会場:せんちゅうパル南広場 主催:株式会社ジェイエア 共催:豊中市
ふるさと納税返礼品 大阪国際空港 施設見学ツアー	6/24、 10/21、 3/31	令和5年度	大阪国際空港所在3市(豊中市、伊丹市、池田市)と日本航空株式会社が連携し、各市のふるさと納税返礼品として大阪国際空港施設見学ツアーを実施 寄附額:100,000円/人 参加人数(3市合計) 第1回:15人 第2回:11人 第3回:13人

8. その他の関係協議会

(1)大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会

大阪国際空港及びその周辺地域の活性化について協議・啓発運動を行い、もって地域の振興・発展に寄与することを目的とし、活性化に関する講習・講演会の開催や関係当局への陳情活動などを行っている(令和4年度から活動休止)。

大阪府下、兵庫県下の市町村の商工会議所・商工会・青年会議所をはじめ、本協議会の趣旨に賛同する大阪国際空港内及びその周辺事業所等の団体・法人等の会員をもって組織されている。

(2)航空乗継利用促進協議会

会員相互の連絡提携により、航空乗継利用に関する周知・利用促進等を行い、もって地域間の旅客流動の活性化に寄与することを目的とし、航空乗継利用の広報並びに利用促進に関する事業などを行っている。

本会の趣旨に賛同する地方公共団体、空港ビル、旅行会社等の関係団体、航空会社などで組織されている。